

篠山領地誌

ささやまりょうちし

市指定

所在地：北新町



篠山藩の儒学者奈良由
繹と太田資置が、貞享4年
(1687)に当時の藩主松平
信庸のぶつねの命により編纂した
篠山藩領内の地誌原本で
ある。別名を「貞享記」
と言い、全6巻を乾坤2冊
に綴っている。

楷書の肉筆により全編
漢文体で書かれ、流ちよ
うな文体を用い細部に至
るまで丁寧に叙述されて
いる。

縦28cm、横20cm。